

# との山・アレキリ遺跡（第2次）

所在地： 度会郡 玉城町 中角（わたらいぐん たまきちょう なかつの）  
発掘調査期間： 平成28年10月上旬～平成28年12月中旬（予定）  
発掘調査面積： 約720㎡（予定）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) との山・アレキリ遺跡発掘調査現場

## 昨年度に引き続き、との山・アレキリ遺跡の発掘調査が始まりました！

本年度も農業用水管工事に伴い、との山・アレキリ遺跡の発掘調査が行われることになりました。昨年度の調査では、これまで確認されてこなかった縄文時代（約13,000～2,000年前）の土器や石器が確認されました。また、奈良時代（約1,300年前）のものと思われる竈穴住居跡が3棟確認され、周囲にはさらに多くの住居が存在すると推測できました。住居内からはカマドの痕跡が発見され、カマドを使って料理をしていた当時の人々の暮らしをうかがうことができました。さらに、平安時代（約1,200～850年前）の高級品であった緑釉陶器と灰釉陶器も見つかっており、この地に高級な陶器を使うような身分の高い人がいたことが分かりました。

今年度の調査はまだ始まったばかりですが、奈良時代のものと思われる甕が溝から出土しており、今後の調査においても、貴重な遺構・遺物などが見つかるのではないかと期待しています。



縄文土器

磨製石器（石斧・石のおの）

### 甕の出土状況

甕の破片がかたまっただけで出土しました。溝に捨てられたのでしょうか。

### 昨年度見つかった縄文時代の土器・石器

### 本年度のある調査区の様子

長さ約70mの細長い調査区です。奈良時代の溝と鎌倉時代の柱穴が見つかりました。

### <問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課  
担当者：中井・谷口ー・萩原  
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035